

# 舞踊における共感に ついての一考察

重 永 尚 美

## 【研究目的】

ロイスが「パフォーマンスを創り出すのは、ダンサーと観客の相互作用である」としているように、舞踊の鑑賞において重要なのは、このダンサーと観客のコミュニケーション関係であると考えられる。本研究では、ダンサーと観客を結ぶ重要な要素として共感を取り上げ、舞踊鑑賞の場における共感の概念について明らかにし、共感と密接に関わっていると考えられるコンテキストの影響について考察を試みる。

## 【研究方法】

舞踊を文化人類学的な視点より論じている Judith Lynne Hanna と Anya Peterson Royce の論を参考に、舞踊のコミュニケーションにおける共感の重要性を明らかにする。さらに、アンケートより共感の成立とコンテキストの関わりを調査し、考察を加える。

## 【結果および考察】

### 1. 共感の概念

芸術鑑賞の美的原理とされるものに、感情移入がある。感情移入の理論では、芸術鑑賞によって感じられる感情はもともと我々の中にある感情であり、それをあたかも芸術作品により呼び起こされたかのように感じるとする。それに対し、共感とはまったく反対の作用であり、芸術作品により我々の中に感情が呼び起こされることである。舞踊に関する記述に見られる empathy の意味を考えると、舞踊の鑑賞においてダンサーと観客をつないでいるものは、共感であるといえる。

### 2. 相互作用としての共感

舞踊においては、パフォーマンスからの動きかけに対する反作用として、観客自身の中で新しい創造が行われると考えられる。この新しい創造により観客は代償的にパフォーマンスに参加する。また、ダンサーは身体の動きを通してパフォーマンスを感じとり、ダンサー自身も新しい創造を行う。舞踊の鑑賞で得られるコミュニケーション関係は、この両者の創造活動により作品を越えたさらに新しい創造が生まれる、相互作用であると考えられる。そしてこの相互作用によりダンサーと観客は、その動きによって引き起こされる感覚とは違った体験を共有する。この体験の共有が共感であると考えられる。

### 3. 共感とコンテキスト

コンテキストには、個人的なものと同全人類的なものがある。身近なコンテキストでは、自分が生

まれ育ってきた文化的社会的環境や、舞踊についての知識、パフォーマンスについての知識などあらゆるものが考えられる。さらにそれらすべてを包括してしまう人類共通のコンテキストがある。この人類共通のコンテキストの考えにはユングの集合的無意識の概念が取り入れられており、後天的背景が違っていても系統発生的要素によって無意識のうちに心の奥底で共感が得られると考えられる。舞踊は社会的文化的コンテキストの中にあり、それらと切り離しては存在し得ない。そのためパフォーマンスのコンテキストと観客のコンテキストが一致しているほど、コミュニケーションが行われやすく、共感が得られやすいと考えられる。

### 4. アンケート調査からの推察

1988年に上演された筋のある舞踊作品『心中天の網島』を劇場で見た観客（観客群）とVTRで見た観客（VTR群）、さらに出演したダンサー（ダンサー群）に同じアンケートを行い、作品から感じた情動と、それに対するストーリーの知識の有無による影響を探った。

情動の一致不一致—ハンナの論に従い、ダンサーと観客に生じた情動が一致していることを、共感が成立している1つの目安と考えると、ダンサー群が感じた情動と観客群、VTR群が感じた情動はほぼ一致しており、共感が得られていると考えられる。

ストーリーの知識の影響—ストーリーを知っている観客の方がダンサー群が感じた情動により近い傾向を示すが、観客群においてはその傾向は少ないことから、ストーリーの知識の有無は共感の成立に影響しているが、その影響はさらに場のコンテキストの影響を受けていると推察される。

## 【まとめ】

本研究では、舞踊鑑賞における共感とは、ダンサーと観客の相互的感情的交流によってさらに新しい創造が生まれる相互作用であると考えられた。そのような共感とは、パフォーマンスやダンサー、観客を取り巻くコンテキストと密接に関係していると考えられ、コンテキストの中で行われるダンサーと観客との交流によって成立するものであるといえる。コンテキストの1つの例として、作品のストーリーについての知識の有無を取り上げ調査したところ、ストーリーの知識がある方が共感が得られやすいと考えられるが、それは生（Live）の場においてはあまり影響しないという結果が得られた。本調査から、知識の有無という個人のコンテキストの影響は、場のコンテキストの影響を受けるといえることができる。共感の成立はコンテキストと切り離しては考えられないものであるが、そのコンテキストもお互い影響しあっていると、複雑なシステムの中で、舞踊の共感は成立しているといえることができる。